

2019年12月期 第3四半期 JPMCグループ決算補足説明資料

2019年の概況

- ▶ 運用戸数が順調に増加
前期末比で6,117戸(+8.1%)の純増 81,202戸に
- ▶ 入居率は91.3%と引き続き高水準で推移
(2018年通期入居率 91.4%)
- ▶ 運用戸数の順調な増加により
ストック収入が前年同四半期比で4.1%成長
- ▶ 株式会社センスオブワンダーグループとの資本業務提携を締結
AIコールセンターの実現に向け前進

連結決算ハイライト

(百万円)	2018年度 3Q	2019年度 3Q	前年差	前年比 (%)	通期計画 進捗率
売上高	32,167	32,146	△20	△0.1%	43,300 74.2%
営業利益	2,122	1,687	△434	△20.5%	2,200 76.7%
経常利益	2,130	1,697	△432	△20.3%	2,200 77.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,458	1,168	△289	△19.9%	1,500 77.9%
1株当たり四半期純利益 (円)	80.48	65.30	△15.18	△18.9%	

- ✓ ストック収益は順調
- ✓ 販売用不動産の売却の減少が減収減益の要因(前年は3Q累計 売上高1,087M 営業利益181M)
- ✓ 中期経営計画達成に向け、ヒトへの投資やAIを含めたITへの投資により販管費が増加

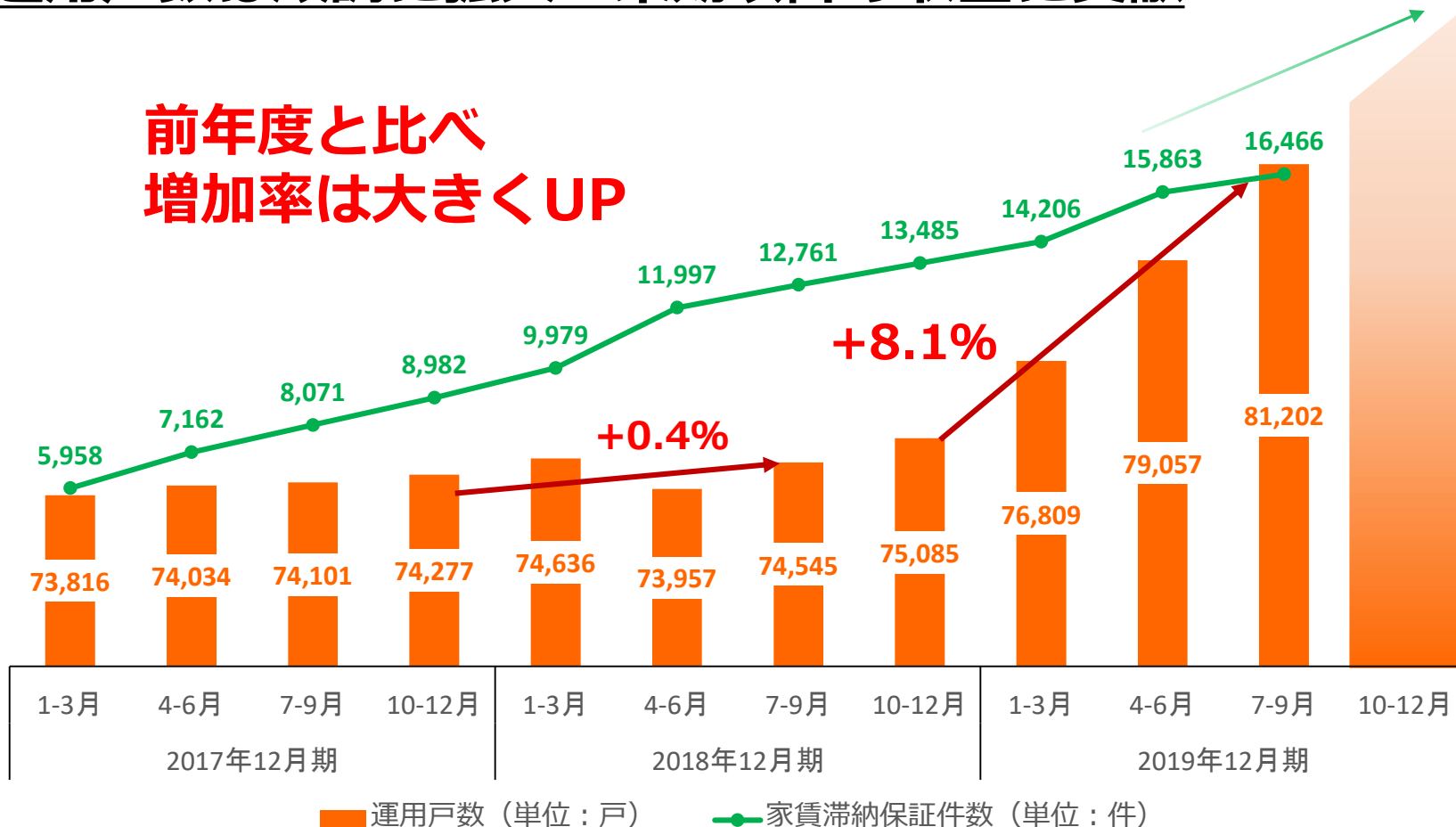
注力するストック収入は順調

(百万円)	2018年度 3Q	2019年度 3Q	2019年度 (予想)	進捗率 (%)	
不動産収入	29,557	30,364	40,952	74.1%] ストック
不動産付帯事業収入	961	1,396	1,950	71.6%	
滞納保証	248	309	442	70.0%	
保険事業	446	815	1,161	70.2%	
JPMCヒカリ	267	271	347	78.2%	
その他の収入	1,648	385	398	96.9%] フロー
売上高	32,167	32,146	43,300	74.2%	

- ✓ 注力するストック収入は前年同四半期比+4.1%と順調に成長
- ✓ 前年比でその他の収入が減少しているのは今期販売用不動産の売却がなかったことが主な要因

運用戸数は順調に拡大 来期以降の収益に貢献

前年度と比べ
増加率は大きくUP



- ✓ 運用戸数は今期目標の80,000戸を突破 来期以降の収益に貢献
- ✓ 中期経営計画で掲げた運用戸数100,000戸も早期の達成を視野に入れる



1. 免責

当社は、本四半期決算補足説明資料に掲載する情報に関しましては、細心の注意を払っております。しかしながら、その正確性、信頼性、安全性等に関しての保証はいたしかねます。また当社は、将来の予測等に関する情報をご提供する場合がありますが、これら情報はある時点における当社予測であり、不確実なものであることをご認識下さい。

2. 著作権等

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられております。